

令和4年11月吉日
井上定株式会社

井上定初の物流拠点:東大阪物流センター竣工

建材・エクステリア・住宅設備の独立系商社 井上定(本社:大阪府中央区西心斎橋、社長:池谷栄二良)は、物流機能強化による顧客サービス向上のため、令和4年11月22日、井上定初の本格的な物流拠点「東大阪物流センター」を竣工いたしました。

2年前の本社移転(東大阪市の金物団地⇒大阪市内へ)を契機に、旧本社ビルを取り壊し跡地に物流センターを建設しておりましたが、この度、完成する運びとなりました。

鉄骨造2階建 延べ床面積 1,849 m²の倉庫は、金物団地の3ヶ所に分散していた倉庫を1箇所に集約することで、収容能力の拡大と入出荷の安全確保を図ります。

同時に経験や勘に頼ることの多かった配送業務について、配車管理、動態管理、庫内管理の各システムを導入し、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進します。

また SDGs(持続可能な開発目標)の観点から物流センターの屋根にソーラーパネルを設置し太陽光発電を行い、物流センターのみならず東大阪本社(北館・南館)の電力を賄い CO²削減に貢献いたします。BCP(事業継続計画)対策としても蓄電装置を設置し、停電時や非常時のバックアップ電源として活用します。

物流センター建設の主な目的は以下のとおりです。

- ① 収容能力拡大と入出荷の安全確保
- ② 支店業務から配送業務を切り離し、営業担当者の負荷軽減を図るとともに、配送業務を専門化することで配送効率や配送品質の向上を図る
- ③ 金物団地3支店のリソース(スペース・労働力・設備)を活用することで配送余力を生み出し、関西圏の他支店の配送も受け持つ

東大阪物流センターの概要は以下のとおりです。

所在地:東大阪府金物町1-12

敷地面積:1,952.00 m²(約 590 坪)

鉄骨造2階建 延べ床面積:1,849.74 m²(約 559 坪)

アクセス:阪神高速荒本 IC より約 3.3km

以上